

アートの日 竹あそび・染物

★竹あそび★

身近な自然を感じてほしい。竹の子がたくさん土の中から出てきたので、触れながら過ごしました。最初は保育者が見つけて、部屋に持って行き、みんなで見っていた竹の子でしたが、次第にこどもたちの方から竹の子を気にかけるようになり、「あそこ竹の子ある！」「大きいのがあったよ！」と言って指をさして教えてくれたり、道で竹の子を見つけては、登園時に持って来たいするようになっていました。

皮むき…

竹の子はやっぱり皮をむくことが楽しい！細く、小さくなるまでむく姿がありました。0、1歳児も手に持って歩くことが楽しい様子でした。5歳児は長さを競いながらむいたり、断面がバラの花みたいと言ったりしている姿もありました。



竹の子とお絵描き・・・

2歳児の部屋では、竹の子を見ながらお絵描きをしました。竹の子の皮をむいたり、ぐるぐるとなぐり描きを楽しみました。竹の子のポーズをしている姿もありました。色はつかないけれどスタンプの様に竹の子を紙に押ししている子もいました。4歳児、5歳児が描いた絵には、よく見たい、触ったいしていたのが絵にもあらわれているようでふさふさした竹の子の先端や点々模様を描く子もいました。



おままごとや砂遊び、水遊びの材料に・・・

むいた後は、園庭で砂遊びをしながらスーフにしたいしてあそぶ姿がありました。「4, 5歳児は竹の子プールをしたい」と言ってタライの中に水を入れて遊びました。3歳児は、地面や砂場にみんなでたくさん突き刺してあそぶすがたがありました。刺した竹が倒れてくることも面白かったようです。



切ってみたい…

4. 5歳児クラスでは、「包丁で切ってみたい」という声が上がリ、1人ずつ切ってみる経験をしました。切ることが楽しくない、とても細かくみじん切りをする姿もありました。切った竹の子は紙皿に盛り付けて本物の料理の様でした。また、のこぎりを使って、伸びてきて困る園舎の周りの竹も切りに行くと、普段子どもだけでは入れない場所にもドキドキワクワクし、長い竹の子に興味していました。



七夕の竹…

七夕の竹は、5歳児が竹林から切り出しました。「長い竹を切りたい」「立っている竹がいい」という子が多くいたので、七夕の笹を切った後に流しそうめん遊び用の竹も一緒に切り出しました。竹が倒れてくるのが面白いようで「倒れるよ」と言いながらたくさん切っていました。七夕送りの時も5歳児が燃えやすいように短く切りました。



流しそうめんの様に・・・

5歳が切り出した竹を持ち帰ると「何?」「長い!」と見に来るこどもたち。自然と流しそうめんのような水遊びがはじまります。好きな場所に並べるのですが、4、5歳は高低差を考えて滑り台や鉄棒、丸太を組み合わせた所から水を流していました。0、1、2、3歳児も大好きな水遊びなので興味を持っている子がたくさんいました。水が流れるところを指さしたり、ちょっと触ったいしていました。2歳児と一緒に絵の具を流してみている姿もありました。



★染め物★

身近な自然物で色水遊びや染物体験をしました。

桜の実、あさがお、マリーゴールド、ひろばに咲いていた花、ブルーベリー、葉っぱ、などなど…。こどもたちの周りにはたくさんの葉や実、花があります。それを水と一緒にビニール袋に入れて手でもみもみ！すると、ほんのりと自然ならではの色が出てきます。絵の具のはっきりした色とは違った優しい透き通るような色とその冷たさ、もみもみで色が変化する驚きはこどもたちを魅了する遊びになっています。

0、1歳児も、園庭のプランターに水やりをしながらあさがおを育てて色水を作りました。マリーゴールドの花も摘んで保育者ともんだい、年上のお友達が作った色水を見せてもらいたいしながら過ごしました。2歳児はひろばの花をとってきて「青になった！」「もみもみしたい！」と言いながらこどもたちから色水遊びをしたいと言っていました。3歳児は桜の実に夢中になっていました。桜の実を拾い集め、そこに水を入れて混ぜて料理を作りながら色水に親しむことができました。



ヨモギ染め・・・

4、5歳児は、色水遊びを発展させ、布をヨモギ染めで染め上げました。ヨモギの葉っぱをひろばからたくさんとってきて、細かくはさみで切って、十ベで煮だして色を出しました。じっくり1時間以上煮ていると、何度も気にかけて見に来る姿、その日は園庭に遊びに行かずずっとテラスのなべのそばで遊ぶ姿もありました。ヨモギのにおいや炎のような形を鬼が嫌いという話をすると、「ヨモギの葉っぱを小さいクラスの子にも見せたい」と言って0、1歳クラスの1人ひとりににおいをかがせてくれる姿もありました。ミョウバンで色を定着させると、淡くすんだ黄緑のような黄色のようなヨモギ染めができあがりました。

